

県立八海高等学校

第1回いじめ対策総点検（報告）

- 1 日時 令和3年8月4日（水）14:00～16:00
- 2 日程 10:00～10:50 現状の聴き取り、協議
10:50～12:00 グループワーク
- 3 訪問者 生徒指導課 支援・相談班 副参事
いじめ対策室 指導主事
- 4 参加者 聞き取り、協議
校長
教頭
いじめ対策推進教員（生徒指導主事）
グループワーク（シミュレーション）
1 学年主任
2 学年主任
3 学年主任
- 5 現状の聴き取り、協議
自校点検シートによる現状確認
 - ・ いじめ防止基本方針、行動計画の確認
 - ・ いじめ事案発生時の対応の流れと体制確認
 - ・ 職員の情報共有とそのタイミングについて
 - ・ 保護者への連絡とそのタイミングについて
 - ・ 昨年度、いじめが原因で学校を休んだ生徒の有無と日数の確認
- 6 グループワーク
指導主事によるロールプレイ法を使ったシミュレーション
<ポイント>
 - ・ 報告、連絡、相談の徹底
 - ・ 組織的な対応
 - ・ いじめに認知の記録の残し方
 - ・ 生徒の言葉や態度に対する観察や見守りに関して
- 7 指導
 - ・ S CやS S Wをできるだけ介入させて組織的な対応をする。
 - ・ 保護者対応も含めて初期対応が非常に大切である。
 - ・ 見守りは最低3ヶ月継続する必要がある、教職員に周知が必要である。
 - ・ いじめ防止対策推進教員と管理職への報告を迅速に行うこと。
 - ・ いじめの一次認知はできるだけ少人数で行い、その後は組織的な対応を協議すること。